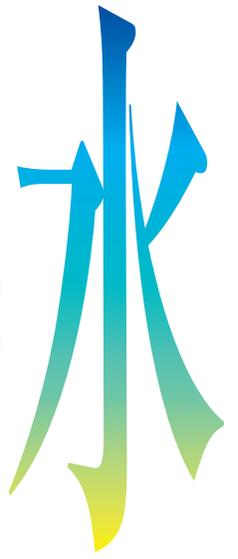


よみがえる

【KJKだより】



写 真：コサギ(新川河口)
写真提供：安永 修 氏



新年のごあいさつ

公益社団法人
香川県浄化槽協会

会長 山条 忠文

新春を寿ぎ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員各位におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、当協会の事業各般に亘り、会員各位並びに行政機関をはじめ関係団体の格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は県民各位のご理解を頂き法定検査事業も順調に推移し目標値にほぼ近づいて参りました。更に本年も法定検査事業の推進に積極的に取り組んで参ります。

昨年は環境省の新規事業として二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金が省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業として、既設大型合併処理浄化槽を対象に導入され、公的補助を活用した設備更新により、CO₂の削減とともに浄化槽の長寿命化を図るための事業であり、大型合併処理浄化槽に対しては、初めて公的補助が導入される運びになりました。

また、小型合併処理浄化槽に対しては、設置に係る公的補助が導入されており整備が促進されており、下水道と比べても遜色のない小型合併処理浄化槽も、本来の性能を発揮させる為には浄化槽法に規定された適正な維持管理が不可欠であります。

浄化槽管理者の義務である法定検査については、県・市・町のご指導並びに関係各位のご協力を頂き、未受検者への受検啓発を継続的に行い、浄化槽管理者にご理解を

頂き更なる受検率の向上に向け協会一丸となって取り組む決意で邁進して参ります。同時に維持管理に係る個人負担の軽減と公的補助に向けて積極的に取り組んで参ります。

浄化槽管理者の維持管理に係る経済的負担軽減は今後不適正浄化槽の根絶と維持管理の適正化を進めるに当たり避けて通れない課題であります。

更に単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換にも力を注いでまいります。

環境教育にも力を入れ、昨年はサンポート高松で行われた香川県主催の「かがわ未来へつなぐ環境学習会」にも参加させて頂きました。

未来を担う子供たちだけでなく様々な年代の方に参加して頂き、貴重な資源である水の大切さをはじめ、水環境保全のために一人一人が出来る、ことについて体験を通じて考えて頂くことができました。

今年も「生活環境と公衆衛生の向上」「浄化槽の普及・啓発並びに維持管理の適正化」及び「安心・安全・快適な環境づくり」を関係機関と連携し、水環境保全の一翼を担う公益法人としての使命感を持って取り組む所存でございます。

会員各位の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げますと共に、当協会に対し倍旧のご支援・ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

香川県環境森林部
部長 中村 貴紀

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、香川県は、白砂青松と多島美を誇る瀬戸内海をはじめ、讃岐山脈から流れる中小の河川やため池など、身近に親しめる変化に富んだ水環境に恵まれています。しかし一方では、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで県では、公共用水域の水質改善と県民が快適で衛生的な生活を実感できる環境づくりを目指して、平成28年3月に、平成37年度を目標年次とした「第4次香川県全県域生活排水処理構想」を策定し、生活排水処理施設の効率的かつ計画的な整備に取り組んでいます。

合併処理浄化槽につきましては、本県における生活排水処理施設の重要な柱の1つとして、積極的に整備を進めており、平成28年度末の合併処理浄化槽の普及率は29.4%と、全国平均9.2%を大幅に上回っています。

また、浄化槽がその機能を正しく発揮するためには、適正な維持管理を行う必要があります。浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査の受検が義務付けられています。

平成28年度の11条法定検査の受検率は49.3%になる見込みであり、指定検査機関である貴協会のご努力により年々向上している状況です。県では、引き続き市町や貴協会と連携しながら、構想の実現に向けて、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、さらなる受検率の向上を図りたいと考えております。

貴協会及び会員の皆様方におかれましては、浄化槽の適正な設置や維持管理の促進を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

高松市上下水道事業管理者
石垣 佳邦

平成30年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、平素より本市の生活排水対策の推進に格別の御尽力と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は、浄化槽法に規定されております法定検査を実施する県内唯一の検査機関として、日頃より浄化槽の普及促進や維持管理、また、法定検査の受検推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、本市の平成28年度末の汚水処理人口普及率は、前年度から0.6%増の85.9%となりましたが、全国平均の90.4%に比べますと依然として低い水準にあります。

また、浄化槽の維持管理につきましても、貴協会の御努力により、11条法定検査の受検率が平成28年度末で、前年度から2.6%増の45.5%となったものの、依然として低い水準にあり、浄化槽の適正な管理を促す上で、受検率の更なる向上が重要な課題であると認識しております。

このような中、本市では、平成28年3月に策定した「第4次高松市生活排水対策推進計画」に基づき、平成37年度の汚水処理人口普及率の目標値である90%を達成するために、基本的には新たな下水道事業計画区域の拡大は行わず、公共下水道の整備と合併処理浄化槽の設置促進を効率的に行うことにより、生活排水処理施設の整備を推進しているところでございます。また、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換にも積極的に取り組むとともに、浄化槽の法定検査を始め、適正な維持管理に向けた啓発活動についても、より一層推進してまいりたいと考えております。

そのためには、貴協会を始め、関係業界の皆様方の更なる御理解と御協力、連携強化が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしく御礼申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

おめでとうございます



黄綬褒章 (建設業)

平成29年11月3日



公益社団法人香川県浄化槽協会
副会長 三日月 善夫氏



環境大臣表彰

平成29年10月2日



株式会社北風建テック
北風 幸男氏

第31回全国浄化槽大会が開催された

平成29年10月2日(月)浄化槽関係16団体で構成する「浄化槽の日」実行委員会は、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで第31回全国浄化槽大会を開催した。

全国から700名の関係者が出席し、浄化槽適正整備推進決議の採択や浄化槽功労者の表彰が行われた。当協会からは北風理事が受賞された。記念講演では、京都府綾部市の前市長で、全国水源の里連絡協議会顧問の四方八州男氏が「小さいことはいいことだ－合併処理浄化槽のすすめ」と題して講演が行われた。大会後に行われた懇親会には多くの国会議員が駆けつけ懇親を深めた。

第31回全国浄化槽技術研究集会開催される

平成29年10月10日(火)、11日(水)公益財団法人日本環境整備教育センター主催の「全国浄化槽技術研究集会」が岡山県のホテルグランヴィア岡山で開催された。10日は式典、講演、研究発表、11日は浄化槽行政担当者研究会、検査員研究集会が行われた。両日合わせて延べ1420名の関係者が全国から参加し、行政や国会からも多数の来賓が出席した。次回の開催県は愛知県の手配である。



平成29年度浄化槽管理士研修会開催される

平成29年10月18日(水)、高松テルサにて、香川県及び高松市共催の浄化槽管理士研修会が開催された。講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第2チームリーダーの濱中俊輔氏を迎え、「最近の浄化槽の動向と維持管理のポイント」と題して講演が行われた。

参加者は最近の浄化槽の動向と維持管理に関する内容に熱心に聴き入っていた。



平成29年度浄化槽保守点検技術向上現場研修会を開催

平成29年11月6日(月)、香川県の委託事業である浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、浄化槽保守点検業者の保守点検技術向上現場研修会を、東かがわ市内にて開催した。

講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ グループリーダーの仁木圭三氏を迎え、「小型浄化槽の構造と維持管理について」をテーマに、午前中は東かがわ市白鳥コミュニティセンターにて講習を行なった。

また、午後からは、同施設の浄化槽を使い、浄化槽の構造や作動の確認を行った後、保守点検を行う上での留意点についての説明やパックテストを用いた水質測定実習を行った。

参加者からは現在抱えている問題などの相談や質問も飛び交い、有意義な現場研修会となった。



平成29年度九州地区浄化槽検査員研修会に参加

平成29年11月24日(金)、熊本市内のホテルメルパルク熊本にて平成29年度九州地区浄化槽法定検査員研修会が開催された。九州地区からは87名が参加し、四国地区からは、当協会からの2名を含め9名が参加した。熊本県土木部道路都市局下水環境課 課長補佐の林 浩介氏が「法定検査受検率の向上にむけて」と題して講演が行われた後、各県の研究発表を行なった。交流会では情報交換を行い、今後の検査業務に役立つ研修会となった。



みとよ健康福祉まつり

平成29年10月14日(土)、「みとよ健康福祉まつり'17」に参加し、浄化槽相談、浄化槽に関するクイズ及び浄化槽カットモデルやミニモデルの展示を行い、浄化槽の普及啓発活動を行なった。

浄化槽相談コーナーでは多数の質問があり、担当者が懇切丁寧に対応を行った。クイズについては、水環境に関する問題を子供も大人も楽しんで挑戦していただいた。クイズ挑戦者には参加賞として協会特製トイレットペーパーを配布し、浄化槽の啓発と法定検査のPR活動に努めた。浄化槽カットモデルはフジクリーン工業株式会社のご協力をいただき展示を行なった。



協会ブース風景



浄化槽カットモデル

善通寺農商工夢フェスタ2017

平成29年10月21日(土)、善通寺農商工夢フェスタ2017に参加し、浄化槽ミニ講座や浄化槽クイズによる浄化槽の普及啓発活動を行なった。72名の大人がミニ講座を受講後に浄化槽クイズに挑戦し、子供を対象とした水環境クイズには36名が挑戦した。



琴南地区文化祭

平成29年11月5日(日)「第39回」琴南文化祭に参加し、パネル展示による浄化槽の普及啓発活動を行なった。浄化槽ガイドブックや法定検査に関するチラシなど、自由に持ち帰れるようにした。



水環境を守ろう

高松市で環境教室開催

平成29年10月25日(水)、フジクリーン工業(株)と協会は協力し、高松市立下笠居小学校で5年生43名を対象に、総合学習の一環として環境教育を行なった。

座学講座では水の大切さや水の循環と使った水の行方等について説明を受け、浄化槽ミニモデルを用いて汚れた水をきれいにする装置(浄化槽)のしくみを学んだ。実験講座ではCODパケットテストや透視度計等を用いて「住吉川の水」と「亀水川の水」を測定し、よごれの度合いを比べてみた。

生徒達は、「家庭から出る生活排水が川や海がよごれる原因になること」、「汚れた水をきれいにする装置があること」等を学んだ。

協会では、次世代を担う子供たちに水の大切さを知ってもらい、限りある水を守るためには何が必要かを学んでもらう趣旨で、平成20年度より環境教室を開催しています。

小・中学校、PTA、自治会などの団体で、開催のご希望があれば、当協会までお気軽にお問い合わせください。



環境キャラバン隊出動 —環境学習実施—

平成29年11月27日(月)丸亀市立城北小学校で4年生49名を対象に、環境学習を実施した。座学講座では水の大切さや水環境について、パワーポイントを用いたスライドを視聴しながら説明を行い、実験講座ではマヨネーズを薄めたものや、学校近くに流れる土器川の水をパケットテストや透視度計で測定した。土器川の水はきれいということが分かり、生徒たちはきれいな川を維持するために、自分達でできることを考えて発表した。

この環境教育は、香川県環境森林部環境政策課が実施する「体験型環境学習プログラム実施事業」の一環で、平成28年度より「環境キャラバン隊」として当協会が実施しているものである。



10月1日	かがわ子育て支援フェスティバル2017	11月14日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
10月2日	第31回全国浄化槽大会	11月15日	係長研修会
10月6日	第14回KJK会ゴルフコンペ（鮎滝CC）	11月16日	不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
10月10日	不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局）	11月20日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）
10月10日～11日	第31回全国浄化槽技術研究集会	11月21日	不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局）
10月11日	不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局）		不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）
10月14日	みとよ健康・福祉まつり'17	11月24日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）
10月17日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）		建産連理事会
10月18日	平成29年度浄化槽管理士研修会（高松テルサ）	11月27日	環境学習（丸亀市立城北小学校）
10月19日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	11月28日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	11月29日	浄化槽教室（坂出市）
10月20日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	11月30日	不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
10月21日	善通寺農商工夢フェスタ2017	12月4日	高松市上下水道事業経営懇談会
10月24日	浄化槽行政職員研修会（協会2階）	12月12日	浄化槽教室（観音寺市）
10月25日	環境教室（高松市立下笠居小学校）	12月13日	システム協会中四国地区委員会
10月27日	平成29年度第2回会長・副会長 平成29年度第2回理事会 法定検査結果検討委員会	12月17日	浄化槽教室（三木町）
10月31日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）	12月18日	不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所）
11月5日	第39回琴南地区文化祭	12月19日	不適正浄化槽立入指導（高松市上下水道局）
11月6日	浄化槽保守点検技術向上現場研修会（東かがわ市）	12月21日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
11月8日	浄化槽教室（三豊市）	12月22日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）
			係長研修会

かがわ子育て支援フェスティバル2017に参加

平成29年10月1日(日)さぬきこどもの国で行われた、公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団が主催する『かがわ子育て支援フェスティバル2017』に、香川県環境森林部環境政策課より出展依頼があり参加した。出展内容は、「ペットボトルで作るアニマルジョウロ」、「使用済みの包装紙やカレンダーで作るペーパービーズアクセサリ」、「ペットボトルのキャップで作るデコレーションマグネット」などのエコ工作と、環境絵本「海と空の約束」の読み聞かせを行った。子供たちは、楽しそうにエコ工作を作成し、真剣な表情で環境絵本の読み聞かせに耳を傾けていた。

また、当日は『浄化槽の日』でもあり、来場者には『浄化槽の日ポスター』のチラシと『浄化槽の維持管理・法定検査について』のチラシを配布し、浄化槽の普及啓発活動を行った。



Golf Competition

第14回 KJK会ゴルフコンペ結果報告
平成29年10月6日(金)



ゴルフと私
アムズ(株)四国支店
矢木 祐一

降水確率90%で、開催できるかどうか不安でしたが、当日は、雨もほとんど降らず、無事KJK会が行われましたことうれしく思います。長い間、KJK会のゴルフコンペに参加しておりますが、今大会開催地である鮎滝カントリークラブに於いて、初めて優勝をすることができました。KJK会の幹事としており、まさか優勝するとは、思っておりませんでしたので、少々とまどいましたが、メンバーやハンディキャップのおかげで、このような結果となりました。最後になりましたが、KJK会に参加された会員の皆さま、お疲れ様でした。

於：鮎滝カントリークラブ
《第14回KJK会ゴルフコンペ結果》

順位	参加者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	バスマ
1	矢木 祐一	46	44	90	16.8	73.2	
2	前田 忠信	43	44	87	13.2	73.8	★
3	宮武 幸雄	43	48	91	16.8	74.2	
4	山野 元春	47	48	95	20.4	74.6	
5	松尾 英樹	44	44	88	13.2	74.8	
6	青田 健二	48	41	89	13.2	75.8	
7	木下 敏博	51	50	101	25.2	75.8	
8	原 透	47	48	95	19.2	75.8	
9	雉鳥 進	53	52	105	28.8	76.2	
10	黒川 直弥	55	45	100	22.8	77.2	
11	岡本 吉幸	43	48	91	13.2	77.8	
12	真鍋 弘之	48	55	103	25.2	77.8	
13	大野 敏	45	44	89	10.8	78.2	
14	大西 徹弥	49	53	102	22.8	79.2	
15	山崎 健一	49	48	97	16.8	80.2	
16	天野 洋平	49	48	97	14.4	82.6	



編集後記

新年明けましておめでとうござい
ます。

前回の「新箸蔵街道を歩いてみる」続きます。まずは机上調査から。国土地理院発行・二万五千分の一の地図を見てみると、JR讃岐財田駅からほぼ真南に実線が描かれ、山際から破線になってピーク三〇・五二三を目指しています。これが現在も歩くことができる箸蔵街道で、箸蔵寺まで約三時間、実は私は以前に何度かここを歩いたことがあります。ずっとたどっていくと途中、標高五六〇mあたりで南西に破線が枝分かれし、現在の国道三三二号線猪鼻トンネルの真上、旧猪鼻峠まではほぼ標高線に沿って延びているのがわかります。これが約一四〇年前の車道「新箸蔵街道」なのでしょう。か？はやる気持ちを抑え現地へと赴くことにしましょう。

朝七時にJR讃岐財田駅を出発し、三十分ほど山道を行くと地図で確認した分岐点あたりに到着。注意深く周辺を探ってみると…あった！藪に覆われて判りづらいですがそれらしい幅をもって右の斜面へと別れていく道を発見しました。以前通った時には全く気づきませんでした。これに違いない、と踏んだ私は藪の中へと突進するのでした。

「新箸蔵街道」と思われる道は藪に覆われ、倒木に遮られ、背負ったリュックサックがあちこちに引っかかり非常に歩きにくいですが少しづつ前進していききました。山側の斜面が崩れており、谷側も崩落して道そのものが消失して大迂回を余儀なくされる箇所もありますが、日当たりがよく乾燥しているところでは当時の六尺(約一・八m)といわれる幅をもった道が延々と続いており、軽自動車なら余裕で通れそうです。またカーブのきついところでは築石で法面を補強しており、あきらかに人の手が入った構造物だということがわかります。

結局、箸蔵街道の途中にある二軒茶屋跡までの約四kmを三時間以上かけて走破した私は、これが大久保謙之丞の造った明治時代の車道「新箸蔵街道」であることを確信しました。

最後に、疑問がひとつ。「新箸蔵街道」はここ二軒茶屋跡から更に南へ約五km、箸蔵寺まで続いているのですが(こちらはなんと、現在でも軽自動車なら通行可能！ただし、相当な悪路で四駆でないといきついかも)、この道は当時はいわゆる「盲腸線」で、この車道に出るには徒歩しかなく、なぜこんな大掛かりなものを山腹に造ったのか。恐らくは将来の猪鼻峠を越える四国新道建設のための資材運搬目的ではないか、そのためのパイロット道ではなかったか、と私は推測します。

改めて大久保謙之丞の先見性と行動力に感服させられた私は清々しい気持ちで「旧箸蔵街道」をJR讃岐財田駅へと取って返したのでした。

(尚森清掃社 堀家 真大)

計報

公益社団法人
香川県浄化槽協会 前副会長

坂本 勉 氏

平成29年10月9日(ご逝去)

●機関紙編集委員●

- 三好光信 (株)ハウステック高松営業所
- 小島真治 (株)フソウ四国支店
- 山崎健一 シコク環境ビジネス(株)
- 堀家真大 (尚森清掃社)

○印は、委員長です

「よみがえる水」No.88

- 発行年月 平成30年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <http://www.kagawajk.jp>
- Eメール kjc@shirt.ocn.ne.jp